

第3章 前計画に基づく取組みの評価

1 前計画の方針と施策

- 令和元年度に策定した第2期水俣市地域公共交通網形成計画では、水俣市全域を対象として令和2年度から令和6年度までの方針及び取組みを示しています。
- 『将来にわたって持続可能な公共交通体系の再構築』の基本理念のもと、本市が目指すまちづくりの実現に向けて4つの方針が設定されています。

<基本理念：第2期水俣市地域公共交通網形成計画>

将来にわたって持続可能な公共交通体系の再構築

<基本方針：第2期水俣市地域公共交通網形成計画>

基本方針1 市民にとって利用しやすい運行サービスの効率化

市民の外出行動に合わせた運行サービスの見直しを図り、ルートの再検証や運行内容の見直しなど運行の効率化を進めます。

- 目標1 市民の日常生活を支える地域公共交通の存続
- 目標2 路線維持の仕組みづくりと路線の廃止・見直し基準運用による持続性向上

基本方針2 地域公共交通に対する利用意識の向上

過度な自家用車利用の解消に向けて、ターゲットに応じた公共交通を利用するきっかけとなるイベントの実施により、意識の転換を進めます。

- 目標1 市内における回遊手段の利用案内を強化
- 目標2 高齢者を中心に公共交通の利用意識を転換

基本方針3 地域の乗り継ぎ拠点における交通サービスの充実

地域の乗り継ぎ拠点において、市民・来訪者にとって分かりやすい公共交通の利用案内、乗り継ぎ案内を充実し利用案内の強化を進めます。

- 目標1 乗り継ぎ拠点における市民の利便性向上
- 目標2 来訪者が公共交通を利用するきっかけとなる情報案内の提供

基本方針4 交通事業者等との連携強化による地域公共交通の維持

交通事業者・施設関係者と協力したモビリティマネジメントの実施、公共交通の利用を推進するための宣伝や公共交通の利用案内を強化し、地域公共交通の維持を目指します。

- 目標1 市民の外出目的を創出するための公共交通の利用促進
- 目標2 市内のイベント・行事における地域関係者との連携促進

<達成状況の指標>

現状確認の一貫として、方針の目標ごとに達成状況を検証し、達成度を右の指標で評価を行い、今後の課題を明確にします。

達成度：○：達成できた

達成度：△：取り組んだが達成できなかった

達成度：×：取組みに至らず達成できなかった

2 目標達成状況の検証

方針1 市民にとって利用しやすい運行サービスの効率化

目標値1 みなくるバス・乗合タクシーの年間利用者数

(内容) 前計画の目標に掲げている水俣市民の公共交通利用の促進により、利用者の減少を抑制し路線の持続性向上を目指してきましたが、目標値を下回る結果となりました。今後は、本計画で実施した市民ニーズの再検証結果を踏まえて、ニーズに合わせた運行サービスの見直し・改善を行い、路線の維持を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度	－3.0%/年 以下に抑制	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
みなくるバス・乗合 タクシー利用者数	104,767人		約90,000人	84,322人	94%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和6年度のみなくるバス・乗合タクシーの年間利用者数は、**84,322人**であり、**目標値の約90,000人まであと約6千人**のため、**未達成**となりました。

取組み内容 ○新型コロナウイルスの影響により令和元年から令和3年までは大幅に利用者数が減少しています。
○本市では、高齢者（満75歳以上）と重度障がい者への公共交通サービスの提供と積極的な社会参加及び健康増進に寄与することを目的に、運賃無償化を令和3年9月より実施しています。
○令和3年9月より実施されたみなくるバスの無償化やコロナウイルスの第5類感染症の移行等の影響により令和5年度からは増加傾向に転じています。

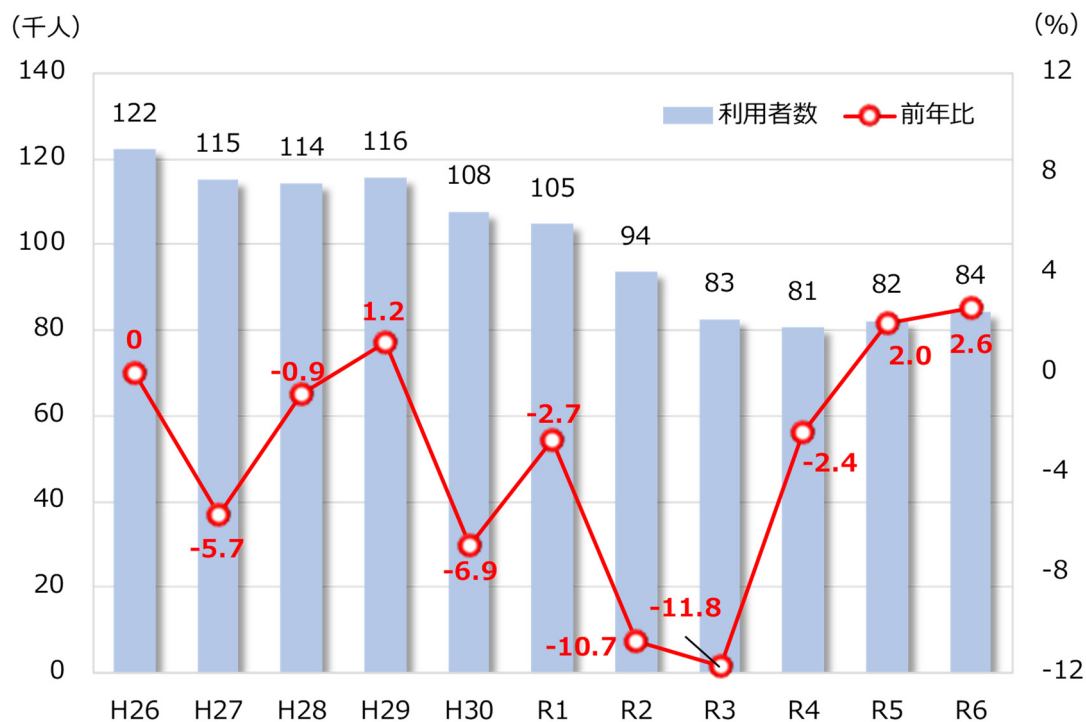


図 みなくるバス・乗合タクシーの年間利用者数

目標値2 利用者1人当たりの公的資金投入額

(内容) 前計画の目標に掲げている運行効率化による公共交通の持続性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通体系を目指してきましたが、目標値を下回る結果となりました。今後は、利用が著しく低迷する乗合タクシー路線を主な対象に運行形態や路線を見直し、運行の効率化を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
利用者数1人当たりの公的資金投入額	バス交通 881円		現況値以下 に抑制	バス交通 1,104円	80%
	乗合タクシー 56,589円			乗合タクシー 3,255円	100%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和6年度のバス交通の利用者1人当たりの公的資金投入額は1,104円であり、目標の881円を上回るため、目標は**未達成**となりました。
令和6年度の乗合タクシーの利用者1人当たりの公的資金投入額は3,255円であり、目標の56,589円を下回るため、目標は**達成**となりました。
乗合タクシーの目標は達成できたものの、バス交通の目標は達成できていないため、この**目標値は未達成**となりました。

取組み内容 ○乗合タクシーは、利用低迷路線である大迫・牧ノ内線、小津奈木線、坂口・ハノ窪線、神川・湯堂線を令和3年2月よりデマンド運行に転換し、運行の効率化を図りました。

バス交通 (R6年度)

運行路線			年間輸送実績		経常費用		
No.	分類	運行系統名	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	経常費用 (千円)	経常欠損額 (千円)	1人あたりの 補助額
1	みなくるバス	末臼野(茂川)・梅戸港線	3,137	487	5,709	-5,222	1,665円
2	みなくるバス	末臼野(茂川)・梅戸港線	5,826	875	8,720	-7,845	1,347円
3	みなくるバス	大川線	11,329	2,077	21,054	-18,977	1,675円
4	みなくるバス	中屋敷線	4,037	790	10,735	-9,945	2,464円
5	みなくるバス	葛彩館線	3,584	654	6,603	-5,949	1,660円
6	みなくるバス	湯の尻線	15,582	1,996	7,012	-5,016	322円
7	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線(頭石発)	9,394	1,361	11,419	-10,058	1,071円
8	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線	23,451	3,174	14,053	-10,879	464円
9	みなくるバス	茂道～頭石・招川内線(頭石経田)	5,524	766	4,343	-3,577	647円
10	産交バス	水俣産交～道の駅たのうら	14,565	4,588	36,192	-31,604	2,170円
11	産交バス	道の駅たのうら～水俣産交	16,684	5,141	39,871	-34,730	2,082円
12	産交バス	水俣産交～つなぎ温泉前	2,179	530	4,413	-3,883	1,782円
13	産交バス	水俣産交～つなぎ温泉前	3,642	880	6,387	-5,507	1,512円
14	産交バス	水俣産交～佐敷駅前	497	178	1,175	-996	2,005円
15	南国交通	佐潟口・水俣車庫線	66,328	30,580	76,230	-45,650	688円
16	南国交通	鹿児島連絡空港バス	49,678	8,654	68,662	-60,008	1,208円
			235,437	62,731	322,577	-259,846	1,104円

乗合タクシー (R6年度)

運行路線			年間輸送実績		経常費用		
No.	分類	運行系統名	輸送人員 (人)	運送収入 (千円)	経常費用 (千円)	経常欠損額 (千円)	1人あたりの 補助額
17	乗合タクシー	猿郷線	2,108	316	4,549	-4,233	2,008円
18	乗合タクシー	大迫・牧ノ内線(予約制)	94	5	206	-202	2,149円
19	乗合タクシー	市木線	168	47	1,081	-1,034	6,156円
20	乗合タクシー	寺床・寒川線	44	84	1,514	-1,430	32,508円
21	乗合タクシー	小津奈木線(予約制)	15	2	32	-30	1,993円
22	乗合タクシー	鬼岳線	6	13	994	-980	163,407円
23	乗合タクシー	坂口・ハノ窪線(予約制)	1	0	13	-13	12,714円
24	乗合タクシー	神川・湯堂線(予約制)	9	3	39	-36	4,050円
			2,445	470	8,428	-7,959	3,255円

目標値3 利用低迷路線（便平均利用者2.0人未満）の解消

（内容）乗合タクシーは、市民の生活等を支える重要な交通ネットワークです。交通ネットワークのうち、利用が低迷している路線（便平均利用者2.0人未満）の運行改善を図るとともに、沿線地区にとって必要とされる地域交通の実現を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
利用低迷路線（便平均利用者数2.0人未満）の解消	該当6路線	➡➡➡	該当0路線	該当8路線	0%

取組み状況

達成状況 ▶令和6年度の乗合タクシーの便平均利用者数は全路線で2.0人を下回ったことから、**未達成**となりました。

取組み内容 ○乗合タクシーの利便性向上を図るため、石坂川地区及び越小場地区にて、ドア to ドアでのオンデマンド型の乗合タクシーを令和4年11月から令和4年12月の期間で実証運行を実施しています。



図 チラシ
（水俣市予約型乗合タクシー）

表 乗合タクシーの便平均利用者数（R6）

路線名	運行曜日	便平均 利用者数（R6）	便平均 利用者数（H30）	
猿郷線	月～金	1.6人	2.1人	↓
大迫・牧ノ内線（デマンド）	月	1.2人	0.2人	↑
市木線	火	0.6人	1.0人	↓
寺床・寒川線	火	1.1人	2.3人	↓
小津奈木線（デマンド）	水	1.5人	0.2人	↑
鬼岳線	水	0.3人	0.9人	↓
坂口・八ノ窪線（デマンド）	金	1.0人	0.1人	↑
神川・湯堂線（デマンド）	金	1.8人	0.0人	↑

参考：前計画策定時の利用低迷路線

分類	令和元年度の利用低迷路線	
乗合 タク シー	①大迫・牧ノ内線（便平均利用者数0.20人）	④鬼岳線（便平均利用者数0.90人）
	②市木線（便平均利用者数1.02人）	⑤坂口・八ノ窪（便平均利用者数0.14人）
	③小津奈木線（便平均利用者数0.16人）	⑥神川・湯堂線（便平均利用者数0.01人）

方針2 地域公共交通に対する利用意識の向上

目標値4 自転車市民共同利用システムの自転車1台当たりの稼働率

(内容) 市内の回遊手段として利用されている自転車市民共同利用システムの利用者数は、市内の利用者、一時利用者（観光客等）ともに減少傾向にあります。市民・観光客等の利用の減少に歯止めをかけます。

達成度：○

指標	令和元年度		令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	達成割合
自転車1台当たりの稼働率	46.2%	➡➡➡	現状値以上	67.3%	100%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和5年度の自転車市民共同利用システムの自転車1台当たりの稼働率は**67.3%**であり、令和元年度の46.2%から21.1ポイント上昇し、目標を**達成**しました。

取組み内容 ○自転車市民共同利用システムは、市内在住者や市内勤務者に向けての「正会員」と観光等で来た方が一時的に利用するための「一時利用会員」があり、誰でも登録を行えば自転車を利用できる環境を整備しています。
○利用者はコロナ禍である令和2年～令和3年は減少したものの、コロナウイルスが終息に向かい始めた令和4年からは「一時利用会員」が増加しています。

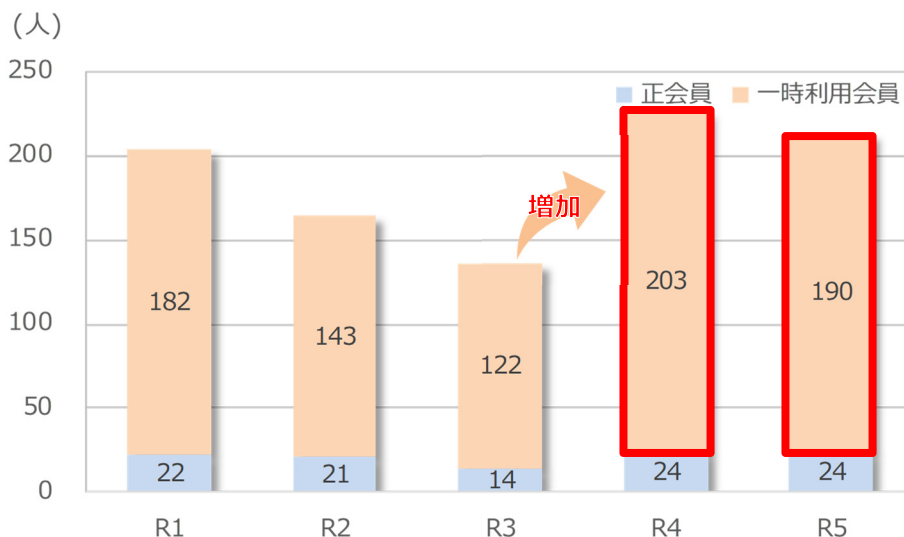


図 自転車市民共同利用システムの新規登録者数の推移

目標値5 運転免許返納特典の申請者数

（内容）高齢者の主な移動手段として、自家用車の利用が最も多くなっています。高齢者の自家用車への高い依存度の低減、免許返納による公共交通へ利用を転換する意識啓発に取組み、高齢者の公共交通利用の推進を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度		令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	達成割合
運転免許返納特典の 申請者数	107人/年	➡➡➡	149人/年	105人/年	70%

取組み状況

達成状況 ▶ 免許返納特典の申請者数の目標値を149人/年としていましたが、**令和5年度は105人/年**であるため、**未達成**となりました。

取組み内容 ○運転免許証自主返納者への特典として、下表の特典のいずれか一つを特典として贈呈しています。
○令和4年度からタクシー回数券を追加しました。

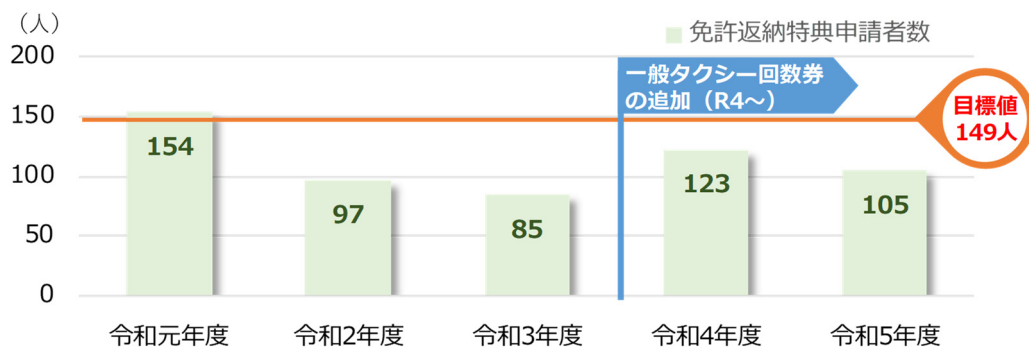


図 免許返納特典申請者数の推移

表 免許返納特典

みなくるバス		
特典1	10綴りの無料回数券5セット（50回分）	
乗合タクシー		
特典 2	150 円区間の回数券（50 回分）	
特典 3	300 円区間の回数券（25 回分）	
特典 4	500 円区間の回数券（15 回分）	
一般タクシー		
特典 5	500 円回数券（15 回分）	

目標値6 モビリティマネジメントの実施数

(内容) みなくるバス・乗合タクシーの主な利用者層である高齢者を中心として、幅広い層をターゲットに公共交通を利用してみようという意識の醸成を図り、持続可能な地域公共交通を目指します。

達成度：×

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
モビリティマネジメントの実施数	7回/年	➡➡➡	10回/年	0回/年	0%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和5年度のモビリティマネジメントの**実施回数は0回/年**であり、目標は**未達成**となりました。

方針3 地域の乗り継ぎ拠点における交通サービスの充実

目標値7 市役所庁舎における利便性向上を図る事業の実施数

(内容) 公共交通が相互に乗り継ぎしやすい交通結節点としての機能充実に向けて、待ち時間を快適に過ごせる待合環境の充実とともに、乗り継ぎ機能の強化を目指します。公共交通を利用する市民の乗り継ぎ拠点として、バスロケーションシステムの導入やバス時刻表の設置、イベントに対応した公共交通の情報発信などの利便性向上を目指します。

達成度：○

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
市役所庁舎における利便性向上を図る事業の実施数	1事業	➡➡➡	3事業/5ヶ年	3事業/5ヶ年	100%

取組み状況

達成状況 ▶ 市役所庁舎での利便性向上を図るため、**庁内での待合所（ベンチ付き）とみなくるバス停前のベンチを整備**しました。また、**バスロケーションシステム「バスきたくまさん」が利用でき**、利便性向上を図る3事業を実施したため、**目標は達成**となりました。

取組み内容

○水俣市役所はみなくるバスや乗合タクシーの経路地であり、ベンチや時刻表を整備し、利便性向上を図っています。

○熊本県内のバスの運行状況をスマホやパソコンから場所・時間を問わず確認できるバスロケーションシステム「バスきたくまさん」の利用が令和元年4月より開始されています。

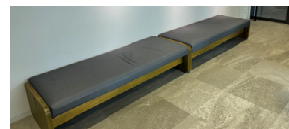


写真 屋内待合所（市役所）



写真 みなくるバス乗り場（市役所）



図 バスきたくまさん

目標値8 来訪者の公共交通の利用割合

(内容) 水俣ICの開通など、来訪者にとって自家用車の移動による利便性が向上しています。H26年時よりも来訪者の自家用車利用が増加しており、公共交通の利用割合が減少しています。来訪者の目に触れる公共交通の利用案内の強化に取組み、公共交通を利用するきっかけとなるような情報案内の提供を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
来訪者の公共交通の利用割合	14.8%	➡➡➡	現状値以上	13.3%	90%

取組み状況

達成状況 ▶新水俣駅及び水俣駅での来訪者の公共交通の利用割合（R6.11）は13.3%となり、目標値である14.8%より約1%低い結果となったため、目標は**未達成**となりました。

取組み内容 ○水俣駅に路線バスやみなくるバス、乗合タクシーの時刻表を設置し、市内の主要な観光地や施設までの乗り換え情報を発信しています。
○また、新水俣駅及び水俣駅では、ベンチ等を設置した屋内待合所を環境しています。

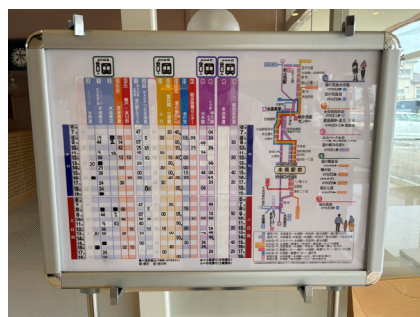


写真 時刻表
(水俣駅)



写真 乗り場案内
(水俣駅)



写真 タクシー会社の電話番号が記載している公衆電話
(水俣駅)



写真 屋根とベンチが整備されたバス待合所
(水俣駅)

方針4 交通事業者等との連携強化による地域公共交通の維持

目標値9 公共交通の利用促進に関係者と協力した回数

(内容) 高齢者の主な外出目的である買い物や通院など、市民の外出目的を創出して公共交通を利用する利用促進企画に取組み、施設関係者や関係団体と連携強化を目指します。

達成度：△

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
公共交通の利用促進 に関係者と協力した 回数	-	▶▶▶	2回以上 /5ヶ年	1回 /5ヶ年	50%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和2年度に地元スーパーと連携した公共交通に関する取組みを実施しましたが、コロナ禍の影響もあり令和6年度までの実施回数は1回であるため、目標は**未達成**となりました。

取組み内容 ○株式会社ロッキーの協力のもと、みなくるバスに乗り「古賀町停留所」、「中古賀町停留所」で下車した方へ、その日限定で利用できるお買物券（10%割引券）を配布しました。

目標値10 イベントに合わせて地域関係者と連携した公共交通の利用促進の企画

(内容) イベントや市内の行事に合わせた公共交通の利用促進企画などに取組み、市民・来訪者に公共交通利用の動機付けを図るとともに、公共交通の維持を目指します。

達成度：○

指標	令和元年度		令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	達成割合
イベントに合わせて 地域関係者と連携 した公共交通の 利用促進の企画	2事業	▶▶▶	2回以上 /5ヶ年	2回 /5ヶ年	100%

取組み状況

達成状況 ▶ 令和6年度は水俣ローズフェスタの実施期間に春と秋にシャトルバスを運行しているため、目標は**達成**となりました。

取組み内容 ○令和6年はローズフェスタが実施される期間にバラ園と水俣市内を結ぶシャトルバスを年に2回運行（春・秋）しています。シャトルバスは無料で実施しており、1日6往復で運行をしています。



図 チラシ
(ローズフェスタ：秋)

第3章 前計画に基づく取組みの評価

(参考) 達成状況の一覧表

◆令和元年度に策定した第2期水俣市地域公共交通網形成計画の計画目標に対する達成状況は以下のとおりです。

方針	目標	指標	現況値及び目標値	実績値・達成状況
方針1	1.市民の日常生活を支える地域公共交通の存続	みなくるバス・乗合タクシー年間利用者数	現況値(R1) : 104,767人 ↓ 目標値(R6) : 約90,000人	実績値 : 84,322人 94%
		利用者1人当たりの公的資金投入額	現況値(R1) : バス交通 881円 乗合タクシー56,589円 ↓ 目標値(R6) : 現状値以下に抑制	実績値 バス交通 : 1,104円 80% 乗合タクシー : 3,255円 100%
	2.路線維持の仕組みづくりと路線の廃止・見直し基準運用による持続性向上	利用低迷路線（便平均利用者2.0人未満）の解消	現況値(R1) : 該当6路線 ↓ 目標値(R6) : 該当0路線	実績値 : 該当8路線 0%
方針2	1.市内における回遊手段の利用案内を強化	自転車市民共同利用システムの自転車1台当たりの稼働率	現況値(R1) : 46.2% ↓ 目標値(R5) : 現状値以上	実績値 : 67.3% 100%
	2.高齢者を中心に公共交通の利用意識を転換	運転免許返納特典の申請者数	現況値(R1) : 107人/年 ↓ 目標値(R5) : 149人/年	実績値 : 105人/年 70%
		モビリティマネジメントの実施数	現況値(R1) : 7回/年 ↓ 目標値(R6) : 10回/年	実績値 : 0回/年 0%
方針3	1.乗り継ぎ拠点における市民の利便性向上	市役所庁舎における利便性向上を図る事業の実施数	現況値(R1) : 1事業 ↓ 目標値(R6) : 3事業/5ヶ年	実績値 : 3事業/5ヶ年 100%
	2.来訪者が公共交通を利用するきっかけとなる情報案内の提供	来訪者の公共交通の利用割合	現況値(R1) : 14.8% ↓ 目標値(R6) : 現状値以上	実績値 : 13.3% 90%
方針4	1.市民の外出目的を創出するための公共交通の利用促進	公共交通の利用促進に関係者と協力した回数	現況値(R1) : - ↓ 目標値(R6) : 2回以上/5ヶ年	実績値 : 1回/5ヶ年 50%
	2.市内のイベント・行事における地域関係者との連携促進	イベントに合わせて地域関係者と連携した公共交通の利用促進の企画	現況値(R1) : 2回 ↓ 目標値(R6) : 2回以上/5ヶ年	実績値 : 2回/5ヶ年 100%